

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取中央） 1 1 月号

（1）「第 15 回山の祭り・第 40 回住宅デー」に参加！

10月27日の日曜日、倉吉市の大御堂廃寺跡で県中部森林組合などが主催する山の祭り・住宅デーが開かれた。J A 鳥取中央は地域社会貢献活動の一環として、地元産の農畜産物、J A えひめ中央との連携による愛媛みかんとポンジュースを農林水産物販売コーナーにおいて、食の発信を企画した。この催しは、鳥取県中部地震や台風等の自然災害が度重なり3年ぶりの開催となったが、親子連れなど大勢の人でにぎわった。



（2）農業大学校アグリチャレンジ科の研修生を受け入れ！

J A 鳥取中央の㈱グリーンファーム大黒は11月6日から8日と13日から15日の計6日間、県立農業大学校アグリチャレンジ科の研修生計4人を受け入れ農業体験を行った。同校のアグリチャレンジ科は、農機の使い方や肥料農薬の取扱い方、栽培管理などの実習を通じて、公共職業訓練として農業の基本知識と実践に活かせる技能を学んでいる。6日は機械で掘り取った白ネギをネットに巻いて積み込む作業や、選果調整作業を行った。研修生は「効率的な作業体制の仕組みや、栽培管理などを学び自身の就農につなげたい」と話す。



（3）社協主催「第3回ボランティアフェスティバル」に参加！

J A 鳥取中央「みらいサポート“愛”プロジェクト」は11月10日、倉吉市社会福祉協議会主催の「第3回ボランティアフェスティバル」に参加した。この催しは、高校・大学生・ボランティアグループ・企業が中心となって企画し、若者のボランティア活動への興味と感心を高め、無理をせず出来る事から互いに支え合い笑顔で暮らせるまち作りを目指す取り組み。昨年は参加者を交え餅をつき、ぜんざい・きな粉餅を無料配布した。2回目の参加となる今年は、新品種米「星空舞」を使ったおにぎりの試食、並びにおにぎり作り体験、米とみかんを販売した。また、J A 出店コーナーに「J A が子どもの未来や地域社会福祉に貢献すること」を目的に設置したチャリティー募金を、社会福祉協議会へ寄付した。

